

事務事業評価表 平成23年度

政策 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実
 施策 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造
 基本事業 文化・歴史遺産の保存と継承

事業名 **郷土資料館管理運営経費**

[5235]

部名	教育部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	郷土資料館	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 郷土資料館
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) ・市民に江別の歴史を理解してもらふ
	(事務事業の内容、やり方、手段) 郷土資料館の維持管理に要する経費。 郷土資料の収集・保存 ・常設展 企画展など展示事業 郷土資料の調査研究 講座等教育普及事業
	手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度当初
対象指標1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標2						
活動指標1	開館日数	日	303	303	302	302
活動指標2						
成果指標1	来館者数	人	3,558	3,721	4,212	3,800
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	13,074	13,382	13,614	12,971
正職員人件費 (B)		千円	5,015	4,979	5,239	5,295
総事業費 (A) + (B)		千円	18,089	18,361	18,853	18,266

費用内訳	
22年度	報酬 4,956千円、報償費 26千円、旅費 56千円、需用費 2,687千円、役務費 201千円、委託料 4,449千円、使用料及び賃借料 122千円、工事請負費 1,117千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	郷土の歴史資料等を市民に公開し活用してもらおう	事業を取り巻く環境変化	
--------	-------------------------	-------------	--

22年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・
根拠は？

江別市郷土資料館条例及び施行規則

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・
根拠は？

歴史・自然・産業・文化等に関する資料を収集・公開し、生涯学習の推進並びに学術の向上及び文化の振興に寄与している。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・
根拠は？

常設展では実物資料を通じて江別の歴史を紹介し、市民の郷土学習に寄与している。
江別市校長会及び教頭会に授業の一環として施設活用を依頼している。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

適切な職員配置、ボランティアの育成により成果向上の可能性はある。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・
根拠は？

17年度に人件費を含め大幅な経費削減を行った。